

## 第2回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針 策定検討委員会

### 会議要録

日時 平成28年6月24日（金）

午後3時00分から

会場 中央公民館1階会議室

#### ○出席委員

1	中村 平	東京女子体育大学体育学部 教授
2	澁谷 茂樹	公益財団法人 笹川スポーツ財団
3	高山 浩久	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
4	小倉 悟	小平市社会福祉協議会
5	山田 正樹	小平第十小学校 学校長
6	荒武 宗昭	一般社団法人 小平市体育協会
7	尾崎 信幸	スポーツ推進委員
8	阿部 仁	公募市民
9	後調 正則	公募市民
10	佐藤 恵子	公募市民
11	椎名 久美子	公募市民
12	夏秋 利恵	公募市民
13	渡辺 仁	公募市民

#### ○欠席委員

星野 実 小平第二中学校 学校長

○事務局 地域振興部文化スポーツ担当部長  
スポーツ振興担当課長  
スポーツ事業推進担当係長

○傍聴者 1名

○委託事業者 2名

○議事 1 スポーツに関するアンケートの調査票について  
2 基本方針の全体構成の見直し（案）について

## 1 開会

文化スポーツ担当部長があいさつを行ったのち、第1回検討委員会で欠席となった委員より自己紹介とあいさつが行われた。

傍聴者が入室、事務局から配布資料の確認等が行われたのち、議事が進められた。

### 議事（１） スポーツに関するアンケートの調査票について

スポーツ振興担当課長が、資料1、2を用いて、スポーツに関するアンケートの調査票について説明を行った。

- |     |  |
|-----|--|
| 委員長 | 資料1、2について、何か意見はあるか。  |
| 委員A | 問3-2の聞き方だと、クラブや同好会に入っている人と入りたいと思っている人が一緒に聞かれている。問3-1の前に、別の設問でクラブや同好会への加入の有無を聞いてはどうか。 |
| 委員B | F7-1について、障害の有無をはっきり聞いてはどうか。また、問10で観戦や体験について聞くのであれば、選択肢を限定せず、記述式回答でもよいのではないか。         |
| 委員A | 問10選択肢13のフライングディスクは、全国障害者スポーツ大会の競技ではあるが、障害者のみが行う種目ではないため、選択肢として違和感がある。               |
| 委員B | 記述式にするか選択肢から外してもよいのではないか。  |
| 委員A | 問11選択肢3は、市民は個別の団体は認識していても、体育協会加盟団体かどうかはあまり認識していないのではないか。                             |
| 事務局 | 選択肢3は小平市体育協会の認知度を、選択肢4は小中学校の学校施設スポーツ開放の認知度を聞くこととする。                                  |
| 委員C | 問13-1は「よく利用している施設」「主に利用している施設」といった聞き方をしなければ、満足度を的確に把握できないのではないか。                     |
| 事務局 | 「よく利用している施設」として、施設の名称と満足度が把握できるように設問を再検討する。  |
| 委員D | 近隣自治体の施設を利用する市民も多いと聞いている。近隣の自治体のスポーツ施設について選択肢を加えてはどうか。                               |
| 委員C | 施設の名称は問12の選択肢の番号を記述式にしてはどうか。   |
| 委員長 | 「主に利用している施設」について聞けるとよい。  |
| 事務局 | 近隣自治体のスポーツ施設も利用可能となっている。問12の選択肢を追加する。  |
| 委員長 | 設問や選択肢を追加すると調査票のページ数も変更する必要が出てくるのではないか。  |
| 事務局 | 紙面の都合上、4の倍数ページで調査票をレイアウトしている。回答のしやすさを考慮して、基本的には8ページにおさえられるとよいと考えている。                 |
| 委員長 | 検討委員会は、意見を出し合う場であるため、反映するかどうかは事務   |

局で判断するとして、まずは意見を委員に伺いたい。

委員 E 問 10 の観戦とは直接観戦を想定しているのか。

事務局 直接観戦を想定している。

委員 A 直接観戦するといった表現があるとわかりやすい。また、体験を合わせて聞いているが、回答者はさらに絞られることが想定される。直接観戦のみとしてはどうか。

事務局 直接観戦について問う設問に修正する。

委員 C 問 15 について、市民が 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に期待することを聞くことは適切なのか。市の方針に反映することを想定するのであれば、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機としてどのようなことを期待するか」といった主旨の設問の方が適切ではないか。

事務局 ご意見を参考に修正する。

委員 長 このような設問は東京都からの要請等があって設定しているのか。

事務局 小平市で検討して設定した設問である。

委員 C 2,000 人を無作為抽出するとのことだが、例えば重度の知的障がい者の方は、本人の回答は難しいと考える。代筆等の配慮は考えているのか。

事務局 1 ページ目の「ご記入にあたってのお願い」の下部に注意書きをしている。障がいのある方には、随時問い合わせ対応を行っていくことを考えている。

委員 A 問 9 と問 10 の選択肢の表記が一部間違っている。

事務局 あらためて確認し、正式な表記に修正する。

委員 B 問 1-1 選択肢 23 について、障がい者サッカーはブラインドサッカーに限らず CP サッカー、アンプティサッカーなどがある。バスケットボールやバレーボールについても車椅子競技がある。表記を工夫できるとよい。

委員 長 種目ごとに表現を再考できるとよい。

委員 F 問 1-1 選択肢 2 の美容体操はわかりにくいので、「ヨガ」等に変更してはどうか。

事務局 ご意見を参考に修正する。

委員 C 問 1-1 の選択肢は紙面を大きく取るので、別紙で提示するなどの対応を考えてはどうか。

委員 A 別紙となると、調査票発送までの工程等に影響が出ることも考えられる。ページ数を増やし、1 冊のままの構成で進めることも検討できるとよい。

事務局 直接記入式としたいと考えている。また、回答者の負担も考慮し、ページ数、レイアウトの変更について、本日のご意見をふまえて検討していく。

委員 G 問 8-1 の選択肢について、運動会などはスポーツに該当するのか。

事務局 市の基本方針では、スポーツを競技スポーツだけでなく、より広く捉えていきたいと考えている。

委員A イベントの「運営」と「スタッフ」は、立場の違いかと思うが、もう少し回答しやすいように選択肢を再考できるとよい。

事務局 ご意見を参考に修正する。

委員長 特にボランティア活動などは、保護者の意向などを把握することができる。フェイスシートで子育て世代を把握することは可能か。

委員A F5を「本人から見た同居人」を聞く設問として、選択肢で「子（成人）」「子（未成年）」とすれば子育て世代を把握することができるのではないか。

委員長 5点質問と意見がある。1点目、スポーツの定義を調査票のどこかで明記したほうがよいのではないか。2点目、問1-1で「わからない」という選択肢は不要ではないか。3点目、問2スポーツや運動「を」に修正してはどうか。4点目、問5の選択肢9は「参加したいと思わない」に修正してはどうか。5点目、問8-1は「〇はいくつでも」でよいのではないか。

事務局 ご意見を参考に修正する。

委員E 調査票の回収率の目安はどのくらいなのか。

事務局 回収率40%を目標としている。調査票発送ののち、礼状兼回答依頼状の発送を予定している。

委員E 調査票の文字量が多く、運動やスポーツに興味がない人は負担と感じられるかもしれない。

事務局 設問数やページ数、文字量が多いと回収率が下がる傾向がみられる。なるべく負担がないようなレイアウト等を検討する。

委員H 無作為抽出とは、年齢や地域の人口比率を考慮しているのか。

事務局 町丁目、年齢ごとに比率を考慮して対象者を抽出する予定である。

## 議事（２） 基本方針の全体構成の見直し（案）について

スポーツ振興担当課長が、資料3、4、5を用いて、基本方針の全体構成の見直し（案）について説明を行った。

委員長 4章構成への変更を事務局として検討している。課題の設定はアンケート調査の結果もふまえて行われるため、事務局案だが、ご意見はあるか。

委員A 構成の変更はよいと考えている。課題案についてはもう少し事務局で具体的に文章に落とし込んでもらえると、委員の皆様も活動の現場の課題を想像しやすくなるのではなか。

委員長 大きな方向性としては事務局案で検討を進めることとする。

事務局 資料6ページ右側に「取組項目」のイメージを記載している。それぞれの方針に対する取組がイメージできれば、そちらについてもご意見をいただきたい。

委員G 課題案1や課題案5の中で市の高齢者支援課や健康推進課の取組が関わ

事務局 ってくるように思うが、どのような考えを持って線引きしているのか。健康推進にあたっては健康増進法、高齢者支援にあたっては介護保険法に基づいた事業を行っている。明確な線引きは難しいが、同じ方向性を持って市民の運動やスポーツのための施策を推進していきたいと考えている。

委員 C この基本方針はいつまでに案としてまとめるのか。また、課題はアンケート等を用いて、裏付けとなるデータも明確にする必要があるかもしれない。

事務局 10 月の検討委員会で素案を提示したいと考えている。その後 11 月にパブリックコメントを実施し、年明けに案としてまとめる予定である。課題はアンケート調査の結果や小平市の他の計画等をふまえてまとめていくことを考えている。

委員 G 学校施設のスポーツ開放に関連するが、夜間照明の設置や校庭の水はけの改善、スプリンクラーの自動化、施設の老朽化への対応など、学校単体の予算だけでは対応しきれないニーズがある。また社会教育施設として開放することで、施設管理が学校の負担となっている部分もある。こういった点が課題にあげられると感じている。

事務局 課題案 3 の「学校体育施設等の有効活用」の中で課題を提起していけるとよいと考えている。夜間照明の設置については近隣住民への配慮や市の財政面での課題も議論されてきた。

委員 G 近隣住民への配慮は重要だと考えている。スプリンクラーについては砂埃の飛散対策もあり、検討できるとよい。

事務局 学校の施設は、東日本大震災以降、避難所としても役割も求められている。こうした視点で施設を有効活用する方策を検討していきたい。

委員 G 施設の利用頻度が高まり、用具がしまいきれないといった課題もある。こういった点も対応を考えていけるとよい。

委員 C だれもがスポーツに親しめる環境づくりといった視点では、地域センターなどのコミュニティの拠点で運動やスポーツに取り組める環境を充実していけるとよい。また、「健常者に混じって障がい者が運動やスポーツを行う時に理学療法士がサポートしてくれるとありがたい」といった市民の声も聞く。この方針でも場所だけでなく、人材についても環境づくりとして捉えていけるとよい。

事務局 そういった取組をまずは一部の地域で実施して、その後全市的な取組へと拡大していけるとよい。

委員長 3 点質問がある。1 点目、世代間交流については課題案 5 に含まれているということでよいのか。2 点目、スポーツの競技力向上に関わる取組はどこにはいるのか。3 点目、総合型地域スポーツクラブについては、どこかで記載するのか。

事務局 世代間交流については、「スポーツを通じた多様な交流」の中に含まれる

イメージである。わかりやすいように表現を再考する。競技力向上については、まず子どもの体力低下が課題の根底にあると認識している。課題案1の中で競技力向上を見据えた子どもの体力向上の取組を掲げていきたい。また、子どもとトップアスリートの交流については、既存の取組を継続していけるとよいと考えている。総型地域スポーツクラブについては、現在体育協会の役割を充実する段階であり、今後の4年間で具体的な施策を検討することは難しいと考えている。

委員長 課題や取組項目については、文章の案を事務局から提示いただき次回議論したい。

事務局 子どもの運動やスポーツの競技力向上に関わるが、競技スポーツで全国大会に出場する選手の支援やリオデジャネイロで開催されるオリンピック・パラリンピックに出場予定で小平市に所縁のある選手を応援したいと考えている。

### 3 閉会

第3回委員会は7月22日の午後3時から福祉会館3階第一集会室で行うこととなった。

以上